

赤い靴通信 412号

「なぜ人は踊るのか」理論で迫る方もおられますが、人物がこの世に生存し始めて、まだ文明が始まる前から踊っていたと言われます。文献として残っているのは古代エジプトの壁画で女性2人が音楽に合わせて踊っている図です。今流行のベリーダンスのルーツとも言われています。出産の痛みをまぎらす踊り、農作物の豊作を祈った踊りとも言います。古事記にある日本の神話ですと天照大神は弟の悪さが止まないため岩戸に入って戸を閉めたところ世の中が闇になって神々が騒いだので、皆で踊り歌って大騒ぎしたのです。なんだろうと天照大神がそつと岩戸を開けて見た時、手力王命が思い切り開けたのです。そのとたん当たりが元に戻り明るくなったという話を小学校の先生から習いました。そして西暦612年、推古天皇の時代「伎楽(ぎがく)」という音楽と踊りが中国から渡ってきて踊りのジャンルが分かれたという説があります。

「中区ダンスフェスティバル」は横浜の中区が多くの洋舞の流入口である事を周知し、ここに多くのダンスチームが集うダンスの祭典です。中区役所と関内ホールとの共催事業ですが、今年、第15回を迎えました。昨年・今年はコロナ禍の為、開催に至るまで苦勞がありました。安全に進める事を第一にこの機会を待ちに待っているダンサーたちの気持ちを思い、最良の方法で続けようと沢山のメール上の協議をしました。横浜市の劇場関係のガイドラインを遵守し、参加者全員が同じ意識を持って前進いたしました。当日は観客の皆様のご来場・氏名・体温を記入・提出して頂きました。多くの催事が中止または延期の中、大変多くの方が集まりましたが、皆さん楽しく過ごしたと好評でした。おかげ様で安全、安心で事故無く終えることが出来ました。因みにダンスのジャンルは「ヒップホップ」「チアダンス」「バトン」「ミュージカルダンス」「リズムダンス」「ジャズダンス」「フラダンス」「フラメンコ」「ベリーダンス」などです。横浜では美術・音楽・ダンスと3年に一度開催する「トリエンナーレ」を続けています。今年「ダンス・ダンス・ダンス・イヤー」でもあるのです。本来ならばこれから10月17日まで街中が踊りで溢れているはずですが、私共の第15回中区ダンスフェスティバルは「東京2020オリンピック・パラリンピックの前夜祭」とも言える7月22日に行われました。

1940年、アジアで始めてのオリンピックをというかけ声で東京に決定しましたが、日本は中国と戦争状態にあり、更に米英とも不穏な空気があって開催を返納した経緯があります。そして第2次世界戦争が終り、1964年、今から57年前に、日本に平和が戻り活気が出てきたころに東京で開催されました。テレビで見た開会式には小学生のブラバンドが2組東西から演奏しながらセンターで合流したのが印象的でした。頭には三角帽子を被っていました。また日本女性のバレーボールが優勝し「東洋の魔女」という言葉が流行し今年も期待しているようです。当時の写真集でも見ているとよくわかるのですが、ウエイトリフティングの三宅さん、柔道の猪熊さんは覚えていて、2020年はどのようになるだろうと大きな期待を寄せていたのですが招かざる客「新



2021年8月7日・8日開催!
詳細は下記をご参照下さい。

音楽劇「赤い靴の絵本」
不朽の名作横浜生まれの絵本「赤い靴」
が音楽劇で上演されます!!
日時: 9/12(日)14:30 開演場所: 横浜市開港記念会館
料金: 大人 1,200円 小人 800円
出演: 音楽劇団「まっかなホント」
Pi坊 空音 土屋友紀 緒勝涼子



音楽劇団「まっかなホント」は赤い靴の絵本をミュージカル化し、楽しくわかりやすく後世に残すことを目的に今年立ち上げた劇団です!

今後のスケジュール

<p>★8/7(土)・8/8(日) 横浜市民子どもミュージカル メモリアル 2021「物語は終わらない」 関内ホール・小ホール ゲネ 8/7(土) 14:00~ ① 8/7(土) 17:00~ ② 8/8(日) 11:00~ ③ 8/8(日) 15:00~ 全4回公演 料金: 大人 1,500円 高校生以下 1,000円</p>
<p>★8/20 第15回東六忌 場所: あかいくつスタジオ(元町)</p>
<p>★9/12(日) 音楽劇「赤い靴の絵本」 ~歌の贈りもの~ 横浜市開港記念会館 14:30開演 料金: 大人 1,200円 小人 800円 出演: 音楽劇団「まっかなホント」</p>
<p>★11/14(日) 中区合唱祭 場所: 横浜市開港記念会館 出演: 赤い靴ジュニアコーラス 横浜☆男声合唱団 ※詳細は後日</p>

型「コロナ」が全世界人類を苦しめることになってしまいました。1年延期してもその陰影は失せず、ワクチンの出現でようやくと安堵していましたが、オリンピックとともに感染者の数も増えています。しかし日本のアスリートの活躍は素晴らしい多くのメダリストを輩出し始めました。当然この機会に向けて練習の焦点を合わせてきたのでしよう楽しみます。

卓球の水谷・伊藤組が不敗伝説の中国組を破り金メダル、初めて5輪の種目になった「スケートボード」はストリートの障害物にあえて挑戦し滑るのです。女子の部での金メダルは、なんと13歳の中学生、西矢栞さんでした。彼女はインタビュで「世界中の人に自分の名を知ってほしい」とか、金メダルは重いですよ、どのくらいという質問に「1トン」とユーマアを交えて答えていました。3位の中山さんは16歳の高校生。最後の一発技で失敗し銅メダルですが堂々としていました。スポーツも多岐にわたって新しいものが出て話題を振りまいていますが、これも大きな進歩でしょうね。女子の「ソフトボール」ですが、関係のある国が主催する時、希望でプログラムに入るのです。ですからオリンピック種目としては13年目です。アメリカと日本が決勝に残り「横浜スタジアム」で行われ、好試合でした。投手の上野さんはその時分からのエースで39歳になります。新人とともに活躍し金メダルに輝きました。水泳の大橋悠依さんが個人メドレー200mで優勝と共に400mも金メダル2冠です。まだまだ日本がメダルラッシュになるのもこれからですね。

さて、先月もお知らせした横浜市民子どもミュージカルメモリアル2021「物語は終わらない」ですが、先日レッスン会場の磯子センターで練習風景を見学しました。コロナ禍の中、ミュージカルは過去に演じた7作品を振り返り、映像と生舞台で構成されています。各回90分公演ですが、私には良い予感があります。

そして9月12日(日) 14時30分、間もなく3年間の修復工事に入る「横浜市開港記念会館」でPi坊先生、空音先生、土屋先生、緒勝先生による音楽劇「赤い靴の絵本」があります。私の書いた絵本「赤い靴」のストーリーから皆さん飛び出し歌い演じるとの事です。一般1200円、高校生以下800円です。申込は事務局へ。

2021・7・31 団長 松永 春